

令和元年度「看護の日」事業 高校生1日看護師体験発表会を開催しました

看護の日とは



5月12日は
看護の日

毎年5月12日は「看護の日」、その日を含む日曜日から土曜日までが「看護週間」です。看護の心、ケアの心、助け合いの心は今後の社会を支えていくために大切です。「看護の日」はこうした心の認知・普及のため、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで制定されました。

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日であることから、5月12日は「看護の日」と定められています。この日にちなんで、新潟県看護協会では毎年式典・市民公開フォーラムを実施しています。

今年度は、5月11日に新潟グランドホテルにおいて、看護業務功労者新潟県知事表彰および優良看護職員新潟県看護協会長表彰やフリーアナウンサーの伊勢みずほ氏による講演のほか、今年度新たに高校生1日看護師体験発表会を開催しました。

看護業務功労者新潟県知事表彰・ 優良看護職員新潟県看護協会長表彰



長年看護業務に精通された方、本会の会員として本会の発展に寄与された方々に贈れ、今年度、県知事表彰は3名、看護協会長表彰は183名の方が受賞されました。

市民公開フォーラム



フリーアナウンサーで元BSN新潟放送アナウンサーの伊勢みずほ氏から「みんなの言葉は生きている～言葉を選んでいい関係～」をテーマに講演いただきました。

高校生1日看護師体験発表会（初開催）

昨年度高校生1日看護師体験に参加した4名の高校生から体験に参加して感じたこと、看護師になるという熱意を発表していただきました。皆さんのいきいきとした発表に「高校生の思いを知ることができ感動した」、「発表を聞き、こんなに深く考え強い意志を持っていることを知り涙が出た」など、参加者からは感動の声が聞かれました。



出会った看護師さんは皆明るく笑顔で周りを元気にするパワーを持った人ばかり。私も人に元気を与えられるような看護師になりたいです。
(高橋菜月さん)



体験では看護師さんから仕事のやりがいや辛いことなど多くの話を聞いた。看護という仕事は社会にとって必要不可欠。看護体験を通して看護師になりたい気持ちが強くなりました。
(遠山温香さん)



看護体験修了証書授与



看護師は技術も必要だがコミュニケーション能力も必要になってくる。私自身コミュニケーションは不得手だが、だからこそ患者さんの気持ちに寄り添える看護師になりたいです。
(遠山穂乃果さん)



コミュニケーションなど看護体験で学んだことが部活や学校生活の様々な場面で役に立っている。看護体験に参加して大切なことを学べて良かったです。
(角屋遥香さん)



(左から)
県立新発田高等学校 高橋菜月さん
県立新発田高等学校 遠山温香さん
県立村上高等学校 遠山穂乃果さん
県立小千谷高等学校 角屋 遥香さん